



## 日本における国際交流。 来日から帰国までを、総合的にプロデュースします。



JICEでは、海外から招へいされる社会人や学生を対象に、それぞれの目的に合った国際交流プログラムをご提供します。日本についてのオリエンテーションの実施から、講義・視察・文化体験などの各種プログラムのアレンジ、同世代の日本人と交流するプログラム（ホームステイ、合宿形式のセミナー、体験的日本語学習）の企画・実施など、来日から帰国まで総合的にプロデュースします。

期間は10日から1ヵ月程度、1グループ数名～200名の規模まで幅広く対応しています。プログラムの運営では事務局スタッフが各種手配を担当し、招へい者と同じ言語を話す専門スタッフ「研修監理員」がプログラムを円滑に実施します。



環境学習

### 海外からの招へい者に向けたプログラムを作成します。

来日目的をふまえたプログラムの作成およびアドバイスをを行い、プログラム充実のためお手伝いします。

### 研修・交流プログラムのアレンジを行います。

ホームステイ（ホストファミリーの募集・選定、受入、終了後のフォロー）、招へい者と同世代の日本人参加者が泊り込んで行う合宿形式のセミナー、招へい者と日本人ボランティアがペアになり街に出て行う体験的日本語学習、有識者による講義や、視察・茶道・武道の文化体験など多種多様のプログラムをアレンジします。



ホームステイ



学校での交流

### 旅行の手配をいたします。

招へい者の宿泊、移動手段、食事をJICEで手配します。

### 豊富な実績をもっています。

- 21世紀東アジア青少年大交流計画（年間19ヵ国約3,000名）
- 青年招へい事業（年間約1,700名）  
独立行政法人国際協力機構が実施する約3週間のプログラムです。2006年度までに20年以上の経験を有しています。
- 中国青年指導幹部視察研修団（年間約90名）  
独立行政法人国際協力機構が中国から招へいする約90名の幹部クラスの受入を7年連続で実施しています。
- 中国高校生中期受入事業（年間40名）  
2006年度には独立行政法人国際交流基金との共催で、40名の高校生を受け入れました。

お問い合わせ 国際交流部（国際交流担当）

電話：03-5322-2581 FAX：03-5322-2590 E-mail：koryu1@jice.org